

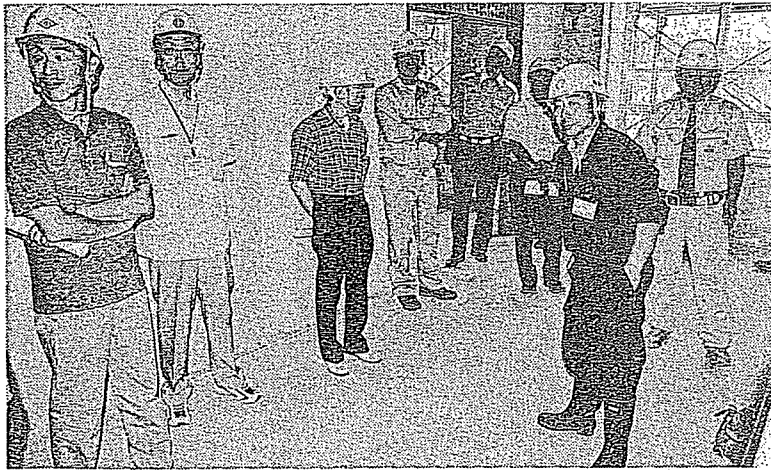
陸別町職員

工事現場で研修

企業努力 連携した仕事ぶりに注目 学ぶ狙い

【陸別】町は9日、J A陸別町の事務所新築工事現場（町東2ノ1）を会場とした職員研修を行った。安全管理などを徹底する企業努力を学び、日常業務に生かすのが狙い。民間の職場を訪れての研修は同町初の試みで、町は「工事現場を教材に選んだのは他自治体でも例がないのでは。今後も斬新な研修方法を練り、職員の意識向上を促した」と（総務課 山口さん）。

（岩城由彦）



工事現場で企業意識の高さを学ぶ町職員

同町の職員研修はこれまで、役場に外部講師を招いて講義を受ける形態が主だった。一方、財政運営の厳しさが増す市町村にとってさらなる業務効率化が求められる中、最少の費用・時間で最大の効果を追求する企業の実践を目的にする機会が必要と判断した。この日は田中芳美助役をはじめ、課長以下の計23人が参加。元請けの宮坂建設工業の菅原善光工事事務所所長の説明を受け、毎日午後3時から行われている翌日の作業打ち合わせを見学した。資材搬出や足場解体などの

際の注意のほか、通勤時も含めた車両の「ライ・ライト（盲点検）運動」徹底まで念入りに確認し合う光景に感心する声も上がっていた。

内鉄筋コンクリート2階建（延べ床面積1272・75平方メートル）の施設内を見学。安全と工期を守る上で定められた作業計画・手順に基づき、多くの工事関係者が連携し

て仕事を進める仕組みに注目が集まった。終了後は役場会議室で同社の芋毛正明労働安全部部长、佐藤安則品質保証部部长が安全管理の重要性を説明。1つの事故が会社にとって致命傷となりにかねない建設業界の現実も紹介した。金澤紘一町長は「民間の業務の進め方を直接まねるのは難しいとしても、官と連携し考え方を知らせるのは有益なこと」と話していた。